

2026年4月8日

各位

東京都台東区東上野一丁目7番15号
ヒューリック東上野一丁目ビル5階
株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号: 6255 東証グロース)
問合せ先 専務取締役 廣澤 一夫
(TEL 03-6240-1206)

第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年10月9日に公表いたしました2026年8月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

2026年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(2025年9月1日~2026年2月28日)

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 中間純損益	1株当たり 中間純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	907	△189	△184	△252	△11.66
実績値(B)	1,124	6	14	△49	△2.33
増減額(B-A)	217	195	198	203	9.33
増減率(%)	23.9	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年8月期第2四半期)	3,121	656	646	479	22.22

2026年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(2025年9月1日~2026年2月28日)

	売上高	営業損益	経常損益	中間純損益	1株当たり 中間純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	793	△207	△204	△246	△11.41
実績値(B)	1,023	△24	△25	△61	△2.91
増減額(B-A)	230	183	179	185	8.50
増減率(%)	29.0	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年8月期第2四半期)	2,944	557	549	418	19.37

業績予想と実績値との差異の理由

予定していた案件の売上加え、米国主要顧客のサウスカロライナ新工場向けの設備移設案件のボリュームが増加したこと、部品の売上が想定を上回ったことで、売上が期初の予想を上回りました。また、期初の段階で既に改造案件や太陽光パネルリサイクル装置、部品など利益率が高い案件を中心に予定していた中で、そこか

らさらに利益率が高い移設作業や部品の売上増による増益があったことや、改造を含む案件における原価低減により利益率が向上したことから各種利益も期初の予想を上回りました。

連結業績及び個別業績とも同一の理由によるものであります。

なお、第4四半期に国内向け大型案件を売上予定であり、予定通り業績は下期偏重となる見込みです。その他の案件の構成に若干の変動はあるものの、足元の業績着地見込みは期初予想の計画の範囲内で推移しているため、通期予想に変更はございません。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上